

国際社会学部

蛭田圭

Kei Hiruta

現代世界論コース

政治哲学

政治哲学とは

政治哲学とは、自由、平等、正義、権利、権力、権威、暴力、戦争、平和といった、政治に関係する諸概念について深く学び、今ある世界の問題点を理解し、今より望ましい世界のあるべき姿について考える学問です。「べき」論に取り組むという点では、政治哲学には倫理学と重複する部分があります。他方で、社会や政治の制度に焦点を当てるとい点では、政治学と重複する部分もあります。さらに、概念について考える際、思想史の成果を参照する点で、歴史学とも接点があります。これら近隣諸学問領域とどの程度接近し、距離を取るかによって、政治哲学内部に様々な方法論やアプローチが生まれます。

研究紹介

自由論を主な研究対象としています。一方で、不自由の源とされるもの—例えば、抑圧、支配、隷従、（不当な）干渉—について分析しています。他方で、自由の実現に必要とされるもの—例えば、自律、自己実現、何らかの社会への所属、他者からの承認—について分析しています。また、自由論の発展に多大な貢献をした思想家、特にアイザイア・バーリンとハンナ・アレントの思想についても研究しています。最近では、liberty, freedom、ならびその親戚関係にある西洋語への訳語として、なぜ「自由」という言葉が選ばれたのか、またその帰結はどのようなものであったかについても研究しています。

担当授業

- 自由論
- ユートピアと社会契約
- Advanced Topics in Political Philosophy
- 政治思想の脱植民地化
- 自由主義、帝国主義、コロリアリスム

関連する分野

- 思想史
- 倫理学
- 政治学（原論・政治理論）
- フェミニズム・ジェンダー論

出版物

本

- *Hannah Arendt and Isaiah Berlin: Freedom, Politics and Humanity*
- *Arendt on Freedom, Liberation and Revolution*

論文

- Fukuzawa Yukichi's Liberal Nationalism
- Value Pluralism, Realism and Pessimism

国際社会学部

政治哲学ゼミ

どのようなゼミか

2022年度秋学期開講の新しいゼミです。主に西洋近現代、特に英語圏の政治哲学に関心のある学生を、広く歓迎しています。英語の文献を教材として用いることが多いため、ある程度の語学力（英語）が求められます。

第一回目のゼミで履修者の関心を聞いた上で、毎年のテーマを決めます。ゼミで学ぶのは学生であり、教員はそのサポート役というのが、私の基本的な考えです。

3年生には幅広く政治哲学・政治思想について学んでもらい、卒論のテーマを探してもらいます。4年生には、①問いを見つける、②答えを探す、の二段階で、論文執筆の指導をします。執筆言語は英語・英語、どちらでも構いません。

おススメの本

- デイヴィッド・ミラー『はじめての政治哲学』
- アイザイア・バーリン『マキアヴェッリの独創性 他三篇』
- ハンナ・アーレント『過去と未来の間—政治思想への8試論』
- 坂本達哉『社会思想の歴史—マキアヴェリからロールズまで』